

学習指導要領	都立砂川高校 学カスタンダード
<p>(1) [自然環境と歴史] 歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。</p> <p>[ユーラシアの諸文明] 自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海、陸における交流を概観させる。</p> <p>[ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成] 産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。</p> <p>[アジア諸国の変貌と近代の日本] ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中で日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。</p>	<p>大河流域に形成された古代文明周辺の自然環境の特色と人類の生活や活動との関わりについて理解することができる。</p> <p>地中海世界・イスラーム世界・ヨーロッパ・南アジア・中国などの文明の特質、日本史とのつながりや比較を通じて世界史学習の基本を把握することができる。</p> <p>イギリス産業革命によって、資本主義社会が確立したことを理解することができる。</p> <p>アメリカ独立革命、フランス革命を扱い、市民革命によって、近代民主主義の理念と制度の原型が成立したことを理解することができる。</p> <p>ヨーロッパ・アメリカにおいて、国民形成と自由主義が確立したことを理解することができる。</p> <p>アジア諸国の近代化への努力と、植民地化・従属化への抵抗と挫折を把握することができる。</p> <p>清の洋務運動と日清戦争、中国分割、朝鮮半島の植民地化を、近代日本との関係も含めて考察することができる。</p>

学習指導要領	都立砂川高校 学カスタンダード
<p>[世界戦争と平和]</p> <p>(2) 帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。</p> <p>[三つの世界と日本の動向]</p> <p>第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。</p>	<p>世界分割と「再分割」への要求が、ドイツと英仏の対立が深まったことを理解させる。</p> <p>第一次世界大戦勃発の原因と、従来の戦争との違いを考察させる。</p> <p>ロシア革命の原因と最初の社会主義国家の特質を理解させる。</p> <p>第一次世界大戦後の国際秩序を把握させる。</p> <p>第一次世界大戦に協力したアジア・アフリカの人々が自治・独立の要求を強めたことを把握させる。</p> <p>世界恐慌が国際秩序に危機をもたらしたことを理解させる。</p> <p>米ソを中心とする東西両陣営の対立の構造を理解させる。</p> <p>冷戦後の国際社会を考察させる。</p>